

かたの



R3.5.17
形埜小学校
校長だより

笑顔を超えて感激の涙に…（伝わる挨拶）

右の写真は、学校下の横断歩道前の様子です。見守り隊の方たちにみんなで「ありがとうございました！」と言っている瞬間です。見守り隊の横山さん（奥様）から、この挨拶のこと、聞いてはいました。毎日、学校下の横断歩道で見守ってくださる横山さん（旦那様）から、「最近、子どもたちみんなが、わざわざ並んで顔を見て挨拶してくれるので、本当に嬉しい」とお家でお話していただいたとのこと。（奥様



は、柳田通学団の子どもたちと一緒に歩いていただいているので、この場面にはいつも間に合わない。）昨日は、たまたま、柳田通学団のペースが速く、奥様が旦那様から聞いていたこの「幸せの瞬間」に立ち会えたのです。そして、横山さん（奥様）が、この様子を見ながら、両手で目を覆って、「あかん、もう泣けてくる。」と…。みんなが、感謝の言葉を言っている姿に心震わせ、涙を流してみえました。私も、つられ泣きです…。みんなには「相手を笑顔にする挨拶をめざそう！」と話していましたが、笑顔を超えて「感激の涙」につながっていました。

先週金曜日の朝、この班のスタート地点に向かって歩いて行きました。先頭の班長さん・副班長さんから、離れた場所でも分かるきらきらの笑顔とともに「こーちよーせんせーい、おはようございまーす」と相手の名前付きで、挨拶が飛んできました。すると、その後ろに並んでいた班のメンバーも、一人ひとりしっかり私の顔を見て「校長先生、おはようございまーす！」と手を振ってくれました。前の子たちが手を振るので、ウェーブのように次々に後ろにつながっていきます。なんだか幸せ感じて、思わず笑顔です。周りの山や木や田んぼが、きらきらしているように見えました。（そんな大げさな…と思われてしまうかも知れませんが、本当ですから！）& 班長さん・副班長さんがしっかりリードしているので、並び方もばっちりというところがまた素敵です。「挨拶もいいけど、並び方もばっちりですね！」と声をかけたら、班長さん・副班長さん「任せてください！」と言わんばかりの堂々の笑顔を返してくれました。

わくわくのクラブ

昨年度の学校評価アンケートにて、「クラブの時間を楽しみにしている」という声がたくさんありました。昨年度の3月に相談を重ね、本年度より、前期（これまでは、この時間をフット・ソフトの練習としていた）も、クラブの時間に充てることとしました。

カメラをもって教室をまわっていたら、有馬先生が「校長先生がみえたから、聞いてもらおう！」と、練習したの「きらきら星」をみんなで演奏してくれました。2時間目なのに、一曲を弾ききっていること&かっこよくなるようになっていくことに感動しました。目の前にいた3年生の女の子に「どっかで、習ったの？」と聞いてしまうくらい上手でした。この時間は、授業とはひと味ちがった素敵な表情が見られます。また、基本的に好きなこと・興味あることに向かっているため、伸び率・楽しみ率も倍増と思われます。先生たちの超得意分野の講座なので、先生たちも楽しんでます！

